

インターナショナルセーフスクール事前審査

～安全・安心な学び舎を目指して～



△曾我部小学校では、校区内の危険箇所を1枚の地図にまとめ、各地点のようすを写真で紹介した安全マップを作成し、廊下に掲示しています

亀岡市では昨年9月から、学校や保育所(園)で起こるさまざまな事故などを予防し、子どもたちが安全に、安心して学び過ごせる学校・保育所(園)づくりを進める国際認証制度「インターナショナルセーフスクール(ISS)」に取り組んでいます。

11月19日～22日には、来年度の本審査とISS認証取得に向けて、アジア地域におけるISS活動の取り組みを10年以上支援しているパク・ナムス博士(韓国)ら3人を招き、現在の取り組み状況について確認する事前審査を実施。ISSに取り組む各学校・保育所



△川東保育所では、4・5歳児が園庭などの危険箇所をチェックする「まもるんじゃー」となり、先生と一緒に園内の安全点検を行っています



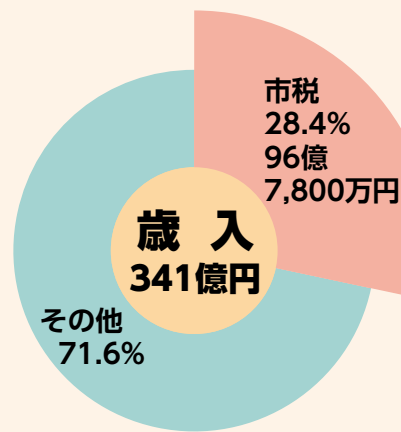
△東本梅保育所では、お茶の先生におもてなしの心を教わりながら、正しい姿勢でしっかりとした体幹を鍛えたり、思いやりの心を育んだりしています

(園)を視察し、活動状況についてプレゼンテーションを受けたり、質疑応答を行いました。

事前審査最終日の全体講評でパク博士は「各学校・保育所(園)の安全に対する意識が非常に高く、また、子どもたちの危険を防ぐ体制がしっかりと構築されていて非常に良かった。子どもの年齢など成長段階に合わせた対策や、起きてしまったけがなどの分析を積み重ね、今後も効果的な取り組みとして発展していくことを願っています」と述べ、亀岡市のISS認証に向けて期待を寄せていました。

皆さんの暮らしを支えています

税金・各種料金は



皆さんに納めていただく税金や各種料金は、市民生活向上のための貴重な財源となっています。

亀岡市では12月を「納付推進月間」と位置付けています。皆さんも、納め忘れがないか再度確認いただき、期限内納付にご協力をお願いします。

平成26年度一般会計当初予算の歳入

市税は歳入341億円のうち約28.4%を占める96億7,800万円です。市が行う行政サービスに欠かせない重要な財源です。

市税

福祉・教育・環境・防災・衛生などの事業や、公共施設の整備など、さまざまな取り組みを進めるための貴重な財源として、皆さんの暮らしに生かされています。

京都府と府内の市町村(京都市を除く)の未納となっている税金の徴収などは、※広域連合「京都地方税機構」が一括して行っています。

※「京都地方税機構」は、京都府と府内25市町村(京都市を除く)の税業務を共同して行い、納税者の利便性向上を図りながら、より一層の公平・公正な税務行政の実現を目指す広域連合です。

国民健康保険料

病気やけがをしたときに安心して治療が受けられるように、加入者の皆さんが所得額などに応じて保険料を出し合い、医療費に充てる「助け合いの制度」です。

保育所(園)保育料

保育所(園)は、入所児童に係る保育料などで運営されています。保育料は、扶養義務者の前年分の所得額、または前年度分の市民税額により決定します。保育所(園)でも納付や相談ができます。

上下水道料金

生活に欠かせない水を供給し、きれいな河川や自然を守るため、上下水道・簡易水道・地域下水道は、使用者の皆さんからの料金などで経営しています。水道料金センターは、土曜・日曜日も開設しています。

し尿くみとり手数料

衛生的で快適な市民生活のためには、し尿くみとりが適切に行われることが重要です。し尿くみとり手数料は、くみとり量に応じて決まります。

介護保険料

超高齢社会を迎え、切実な介護の問題を社会全体で支えていく仕組みが介護保険です。この制度は、皆さんの保険料と税金などで支えられています。

市営住宅使用料

住宅にお困りの市民に、低廉な使用料(家賃)で住宅を供給することで、市民生活の安定と福祉の増進に寄与しています。市営住宅の使用料(家賃)は、入居世帯の所得額と住宅の規模、建設時からの経過年数などに応じて、毎年決定します。

その他、幼稚園保育料、放課後児童会負担金、下水道事業受益者負担金などの納付もお忘れなく。

特別な事情もなく、市税や各種料金を滞納していると、滞納処分や市営住宅からの退去を求められたり、サービス制限を受けることがあります。何らかの事情により納付が困難な人は、担当窓口でご相談ください。

ぜひ、ご利用ください

簡単な手続きで納められる、税金や各種料金などの口座振替が大変便利です。また、市・府民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険料、上下水道料金は、コンビニでも納付できます。



やさしい健康講座 第九十一回

市民の皆さんの健康に関して、今回は市立病院の病院長兼内科部長兼地域連携室長が、専門分野についてアドバイスをします。



亀岡市立病院 病院長兼内科部長 兼地域連携室長 上田和茂 専門分野: 肝臓病学、消化器病学、腹部IVR

胆嚢ポリープについて

検診や人間ドックでよく行われる腹部超音波検査で胆嚢にポリープが見つかることがときどきあります。その90%以上はコレステロールポリープといわれるもので、特に治療の必要はありませんが、大きさが10mm以上のポリープの場合、腺腫(良性の腫瘍)や腺がんなどの区別が必要になります。

できず。今までの統計では10mm以下のポリープは良性のものが多く、10～20mmのものは約1/4が悪性、20mm以上のものはほとんどが悪性のポリープとされています。一般的には10mm以上のポリープは胆嚢摘出(胆嚢ごとポリープを摘出する手術)を考えるべきとされています。したがって胆嚢にポリープが見つかった場合は、その大きさに応じて、腹部超音波検査で定期的な経過観察をするのか、あるいは手術を行うのか、などの検討をする必要がありますので、主治医とよく相談をしてください。